

# 一般質問



豊田1丁目のコスモスアベニュー

## 谷和彦

(自民クラブ)

成年後見制度及び地域福祉権利擁護事業について

問 制度の普及や多摩南部成年後見センターのPR等の考えはどうか。  
答(健康福祉部長) 市民向けの制度説明会を昨年6回実施し、今年度も同様に予定しています。市職員にも研修を実施し、福祉関係者を含め制度の普及に努めます。

住宅用火災警報器の設置促進について

問 警報器により助かった事例の報告はあるか。また、警報器設置に関する他市の状況はどうか。  
答(総務部参事) 警報音により最小の被害ですんだ例が数多くあります。また、各市とも高齢者・障害者に対する補助はありますが、一般家庭に対するものは今のところありません。

## 菅原直志

(市民クラブ)

児童クラブの子どもと保護者へのサービ

問 児童クラブの今後について問う。  
答(子ども部長) 放課後の児童保育は全員入所が原則です。時間延長は職員の変則勤務を原則に考えます。また指定管理者制度等で民間のノウハウが導入され、質の高い

新たなサービス展開が可能になると考えます。自死問題への取り組みを問う。自殺対策基本法を受けて

問1 市の考えを問う。  
答1(総務部長) 法の理念を理解し十分協議を行います。  
問2 どのような対策を考えているか。  
答2(健康福祉部長) 心の健康づくりを充実させ、具体的施策の実現に向け努力します。

## 峯岸弘行

(公明党)

安全・安心のまちづくりについて

問 バトカー仕様の公用車を活用してどうか。  
答(総務部参事) 市でも来年度からの導入を検討しています。  
問 商業の活性化について

を問う。  
答(まちづくり部長) 本来的には商店会が加入促進に取り組んでいくものと考えますが、他市の状況を調査し、市の実態に合う条例を研究していきたいと考えています。

問 百草・落川地域の墓地開発計画への対応は。  
答(まちづくり部長) 墓地開発は行わないよう強力に要請していきます。

## 古賀 壮志

(自民クラブ)

日野市も率先して公会計制度の改革を

問1 複式簿記に基づく財務諸表を作成することによって、得られるメリットについて問う。  
答1(企画部長) 行政サービスに要する正確なコストが把握できると考えています。  
問2 新会計制度の導入について問う。

答2(企画部長) 今後国、都の動向に注目しながら調査研究していきます。

問 収入役の廃止を機に一層効率的な公金管理を  
問 収入役廃止後の会計管理者権限について問う。  
答(企画部長) 会計事務に独立した権限を有する一般職の職員として、適正な会計事務の執行を確保するという役割を担うこととなります。

## 清水 登志子

(日本共産党日野市議員)

日野市は、増税・負担増の大波から高齢者を守る防波堤になれ

問1 要介護高齢者への障害者控除適用を寝たきり高齢者以外にも認め、認定証が発行できるようにすべきではないか。  
答1(健康福祉部長) 申請までの事務については検討していきます。

問2 市長の見解を問う。  
答2(市長) できるだけ支えの必要な方にはしっかり対応する、そういう施策を展開していきたいと思えます。

市立病院跡地活用の地域検討会について

問 地域検討会の議論を広く市民に知らせていく情報公開について問う。  
答(企画部長) 市が議論があつたものについて出していないという点ではありません。

## 鈴木 勝豊

(市民クラブ)

危険予知能力を高め安全な生活を確保しよう

問1 市の交通安全対策は。  
答1(まちづくり部参事) 道路探検隊や通学路点検による危険箇所の察知をハード面の整備に活用するなど、日野警察と綿密な連携を図り、交通安全

対策を実施しています。また、自転車運転免許証については、モデル校で12月の実施をめどに準備しています。

問2 「防犯ニュース」の市としての活用方法は。  
答2(市長) 防犯については、市民も各機関も連携を取り合い、同じ認識を持って対応することが必要です。危険予知能力を高めることを踏まえ

たいただきます。

## 馬場 賢司

(公明党)

妊産婦、乳幼児にやさしいまちづくりを

問1 妊娠(こ)に支給する妊産手当制度の実現について問う。  
答1(子ども部長) 出産件数の状況等いろいろな角度から検討し、見き

わめたいと思います。

問2 市立病院小児科の夜間救急体制の現状は。  
答2(病院事務長) 土曜日に全夜間当直、水曜日と金曜日に平日準夜子ども急診療所のバックアップを行っています。

問 「がん対策」の推進を!

## 森田 美津雄

(無党派)

団塊の世代「2007年問題」に

問1 日野市の実態と課題について問う。  
答1(企画部長) 市の団塊世代は約1万3千人で、課題は専門的な知識や技術等を活かして地域で活動できる環境を整えることと考えています。

問2 影響を受けると思われる行政課題について問う。  
答2(企画部長) 行政課題については、団塊世代活用支援プロジェクトで吸い上げて行きます。

問3 日野市としての今後の取組みについて問う。  
答3(市長) 柔軟な対応と広い視野を持って高齢の方々の力を活用して社会全体や行政を動かしていきたい。行政が良くなるといわれるように努力していきます。

問2 複式簿記に基づく財務諸表を作成することによって、得られるメリットについて問う。  
答1(企画部長) 行政サービスに要する正確なコストが把握できると考えています。

## 馬場 繁夫

(公明党)

複式簿記と発生主義会計の導入を

問1 複式簿記に基づく財務諸表を作成することによって、得られるメリットについて問う。  
答1(企画部長) 行政サービスに要する正確なコストが把握できると考えています。

問 収入役廃止後の会計管理者権限について問う。  
答(企画部長) 会計事務に独立した権限を有する一般職の職員として、適正な会計事務の執行を確保するという役割を担うこととなります。

問 平山6丁目地域の道路拡幅整備促進を

答(まちづくり部参事) この地域につきましては安全・安心な道づくり整備計画に基づいて、より具体的な実施計画を作成する考えです。